

dBTechnologies

FMX シリーズ

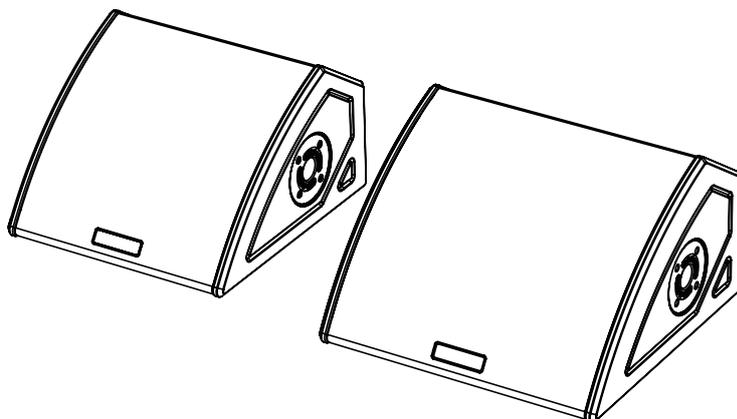
FMX 10 / FMX 12

2-Way アクティブ コアキシャル ステージモニター

取扱説明書

FLEXSYS
FMX10

FLEXSYS
FMX12



安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<p>警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なにおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に修理をご依頼ください。</p>
 <p>指示</p>	<p>電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的(年1回くらい)に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>電源コードを傷つけない 電源コードの上に重い物を載せたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら(芯線の露出、断線など)、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に交換をご依頼ください。</p> <p>付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。</p> <p>交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。 また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。 火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(20cm以上)離して設置する隙間を空けないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込む、または落とさない 火災・感電の原因となります。</p> <p>適切な器具を用いることなくスピーカーを吊り下げない スピーカーのハンドル部を使って吊り下げない 落下や故障の原因となります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p>
 <p>分解禁止</p>	<p>この機器のカバーは絶対に外さない カバーを外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理はお買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。</p> <p>この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。</p>

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<p>警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 <p>指示</p>	<p>設置の際は、資格や経験を持った人(専門業者)に必ず依頼する 天井や壁掛け設置、床などに設置の際は、設置場所の強度を確保する 使用者は必ず安定性と安全性を確認して人や動物・機器に損害を与えないようにしてください。 天井・壁・柱・床などに設置する場合は、設置部分の強度が機器の総重量に十分対応可能か確認してください。</p>
	<p>注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。</p> <p>旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。</p>
 <p>指示</p>	<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する</p> <p>電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となる場合があります。</p> <p>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p> <p>この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となる場合があります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。 必ずプラグを持って抜いてください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となる場合があります。</p>
 <p>注意</p>	<p>5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) にご相談ください。 内部にほこりがたまのまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となる場合があります。 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。</p>

目次

安全にお使いいただくために.....	2
商標および著作権に関して	4
はじめに	4
本製品の構成.....	4
本書の表記.....	4
設置上の注意.....	5
結露について.....	5
製品のお手入れ.....	5
アフターサービス.....	5
本機の概要.....	6
サウンド・カバレッジ.....	6
設置について.....	6
各部の名称.....	7
入出力・コントロール部.....	7
電源部.....	8
接続方法.....	8
入力機器の接続.....	8
複数のスピーカーをつなぐ(デジチェーン接続).....	8
電源の接続.....	9
入力感度の調整.....	9
適合ケーブル.....	9
プリセット設定.....	10
トラブルシューティング.....	10
仕様.....	11
一般.....	11
寸法図.....	12

商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- dBTechnologiesはA.E.B Industriale SRLのそれぞれの国における商標または登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

はじめに

このたびは、dBTechnologies FMXシリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

- 取扱説明書(日本語)は、TASCAMのウェブサイトからダウンロードすることができます。

<https://tascam.jp/jp/>

- 最新版の取扱説明書(英語)については、dBTechnologiesのウェブサイトのダウンロードページから、"FLEXSYS"の項目を選択し、上段"Manuals"の列から対象となるPDFファイルをダウンロードしてください。

<https://www.dbtechnologies.com/en/downloads/>

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。

開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。

付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- スピーカー本体..... × 1
- 電源コード..... × 1
- 取扱説明書(本書、保証書付き)..... × 1

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン／端子などを「POWER」のように太字で表記します。

ヒント

本機を、このように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

設置上の注意

- 設置は、資格や経験を持った人(専門業者)が必ず行い、使用者は必ず安定性と安全性を確認して人や動物・機器に損害を与えないようにしてください。
- 本機の動作保証温度は、摂氏-5度～50度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質低下の原因、または故障の原因となります。
 - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
 - 極端に温度が低い場所
 - 湿気の多い場所や風通しが悪い場所。
- 放熱をよくするために、本機の上には物を置かないでください。
- 熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。
- 本機の近くに大型トランスを持つ機器がある場合にハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くで本機を動作させると、テレビ画面に色むらが出る、またはラジオからの雑音が出る場合があります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発進時、通話時に本機から雑音が出る場合があります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置してから電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。
化学雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

アフターサービス

- この製品には、保証書が添付(巻末に記載)されています。大切に保管してください。万一、販売店印の捺印やご購入日の記載がない場合は、無料修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。
 - 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センター(巻末に記載)が修理いたします。
 - 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理については、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(巻末に記載)にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
 - 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(巻末に記載)までご連絡ください。
 - 修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責については、ご容赦ください。
 - 型名、型番 (FMX xx)*
 - 製造番号 (Serial No.)
 - 故障の症状 (できるだけ詳しく)
 - お買い上げ年月日
 - お買い上げ販売店名
- * ご使用中の[FMX 10 / FMX 12]いずれかの型名をお知らせください。
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
 - 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

本機の概要

dBTechnologies FMXシリーズは、2-Way同軸設計、ポールマウントに対応するホーンデザイン、リニアフェーズFIRフィルターによる最新のサウンド処理という特徴を持ち、あらゆるパフォーマンスのニーズへ応えるモニタリングソリューションです。

- Class-D デジタルアンプを内蔵した同軸スピーカーのステージモニター
- 用途に合わせて設定できる8つのプリセットで、シンプル&スピーディーにセットアップ（10ページの「プリセット設定」を参照）
- リニアフェーズFIRフィルター搭載
- 36mmポールマウントホール装備。スタンドマウント可能
- 繊細な演奏を妨げない静寂を保つファンレス・アンプ
- コネクターやコントロール部を見せないイタリアン・デザイン

サウンド・カバレッジ

dBTechnologies FMXシリーズは、軸外方向のカバー率が高く、至近距離でも優れた音質を実現する同軸スピーカーで構成されています。指向角度は、60° x90° をカバーし、床置き・縦置き等の状況に合わせてロータリーホーンを回転させることによって多様な使い方に対応します。

設置について

電源を入れる前に必ず、本機の入力感度 (**Input Sens.**) が最小値であることを確認してください。

また、本機に接続している音源側の機器の音量も最小にしてください。（各端子類や操作部については、7ページの「各部の名称」を参照してください。）

電源コードの接続方法については、9ページの「電源の接続」を参照してください。

注意

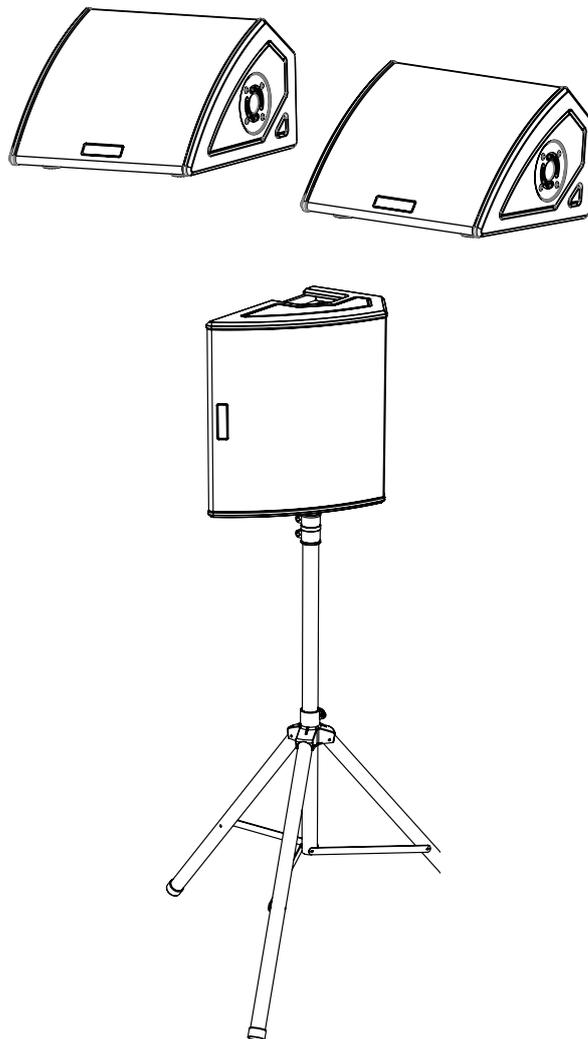
ここで紹介する設置方法以外で、絶対に設置しないでください。指示を守らない場合、人がけがをしたり、機器が壊れたりする原因となります。

AEB Industriale社および、ティアック株式会社は、安全要件に準拠していない不適切な設置については責任を負いません。

- 設置は、資格や経験を持った人(専門業者)が必ず行い、使用者は必ず安定性と安全性を確認して人や動物・機器に損害を与えないようにしてください。
- 本製品を使用している国の安全に関する規制や法律に従ってください。安全にお使いいただくために、ご使用前には全ての部品の動作と整合性を定期的に確認してください。
- 設置部分の強度が機器の総重量に十分対応可能か確認してください。（設置部分の強度が不足している場合、落下や転倒して、人や動物・機器に損害の原因になります。）
- 本体のハンドルや本体 ブラケットを使って本機器を吊るさないでください。
- 別売りアクセサリを安全にお使い頂くために、使用前など定期的にしっかりと固定・組み立てられているかチェックしてください。（弊社は、不適切なアクセサリの使用、または追加による損傷に対していかなる責任も負いません。）
- スピーカーは、必ず安定した場所に確実に設置してください。
- 安全上の理由により、適切な固定方法を用いることなくスピーカーを重ねて設置しないでください。

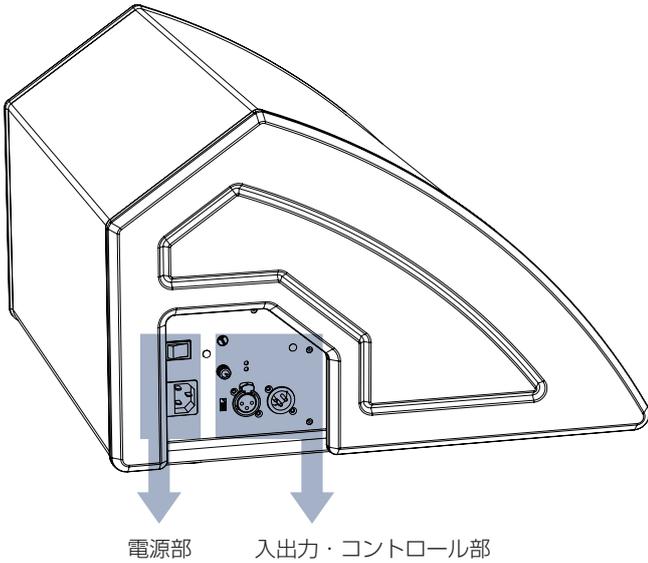
通常の床置きのモニターに加えて、三脚スタンド(右側面に36mmポールマウントカップを装備)での縦置き設置も可能です。

縦置きの場合は三脚の中央の脚が前方になるようにしてください。また、この場合は別売の固定器具(SSB 2 スピーカースタンド)を使用してください。

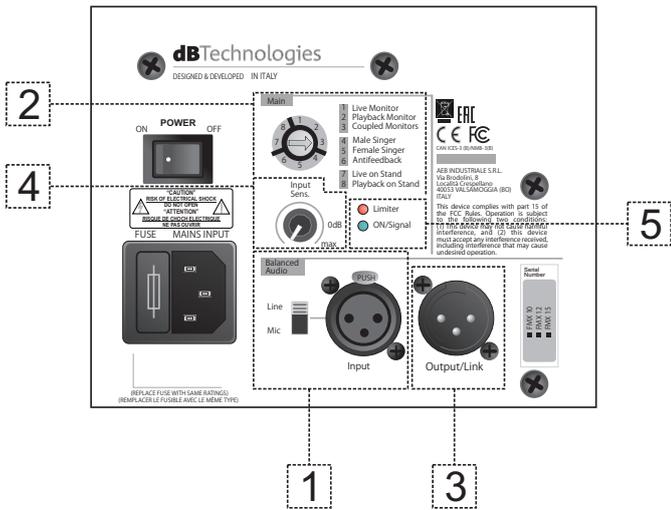


各部の名称

本体側面には入出力・コントロール部、および電源部が配置されています。



入出力・コントロール部



1 Line/Mic 切替式オーディオ入力 (Input)

XLR端子によるアナログバランス入力端子で、ミキサーや他のスピーカーからのラインレベル (Line設定時)、またはマイク等からのマイクレベル (Mic設定時) を入力することができます。

注意

電源を入れる前には、音源側の機器の音量を最小にしてください。

2 メイン・プリセット

用途や設置状況に合わせてプリセット値を設定するロータリースイッチです。(10 ページ「プリセット設定」を参照)

3 オーディオ出力 (Output/Link)

XLR端子によるアナログバランス出力端子で、本機を複数台設置する際にダイジーチェーン構成で、出力するオーディオ信号の接続や他のアンプ内蔵スピーカーにオーディオ信号を出力する事ができます。

4 入力感度調整 (Input Sens.)

入力信号の感度を調節するためのつまみです。モニターやシステムの設定を始める前は、0dBに設定してください。

5 ステータス LED

モジュールの動作に関連するLEDです。

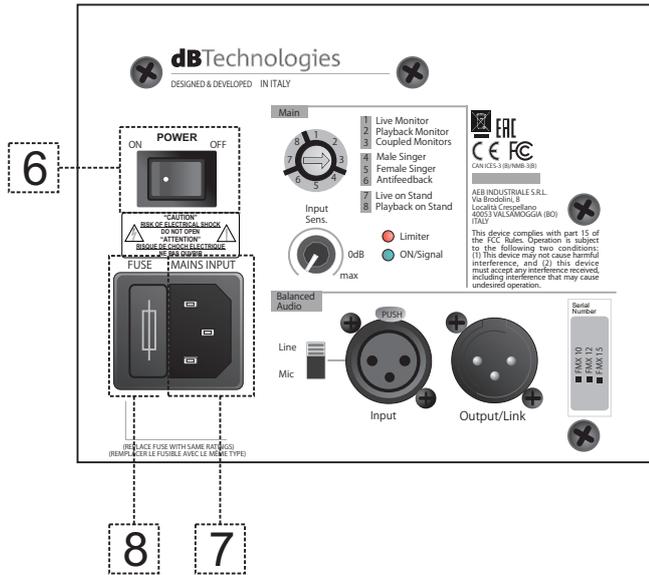
Limiters (赤色): リミッター作動時の点灯、および周期的な点滅で警告信号 (点灯時は確認が必要) を表します。

ON/Signal (緑色): 入力信号を感知した場合に点灯、または点滅します。

注意

Limiters が連続して点灯した状態は、入力信号の歪み音を伴う、過度の負荷がかかっている状態を示しています。そのままの状態、長時間連続使用しないでください。その場合、機器が壊れたりする原因となります。

電源部



6 電源スイッチ (POWER)

電源のON/OFFスイッチです。

7 AC 電源端子 (MAINS INPUT)

付属の電源コードを接続します。

8 フューズホルダー (FUSE)

本機は、ヒューズを備えています。

万一、動作しなくなった場合は、電源コードを抜いてティアック修理センター(巻末に記載)にご相談ください。

注意

- ケーブルの接続や取り外しは、必ず電源を切って電源コードを全て外した状態で行ってください。
- アンプ後部のヒートシンクを塞がないでください。アンプ部が極端に熱くなった場合、モジュールが動作可能温度に戻るまで音量が徐々に小さくなります。通常の動作可能温度に戻ると音量は自動的に元の音量に戻ります。
- 不具合が発生した場合は直ちに電源を切り、さらに本製品を電源から切り離れた後、ティアック修理センター(巻末に記載)に連絡してください。
- アンプ部は絶対に分解しないでください。
- 不具合や音質劣化を防ぐために、ダメージを受けたケーブルは新しいものと交換してください。

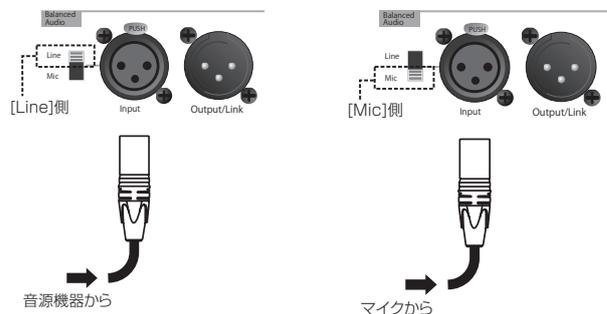
接続方法

本機のInput端子はXLRバランスケーブルに対応しており、ミキサーなどの音源機器や他のスピーカーのラインレベル信号、またはマイクからのマイクレベル信号を入力することができます。オーディオケーブルについては、9ページの「適合ケーブル」で確認してください。

注意

- 電源を入れる前には、音源機器側の音量を最小にしてください。
- 電源を入れる前には、本機の入力感度調整 (Input Sens.) を最小値に設定してください。
- 入力機器のケーブルの接続や取り外しは必ず、本機の電源を切り、電源コードを全て外した状態で行ってください。
- 不具合や音質劣化を防ぐために、ダメージを受けたケーブルは新しいものと交換してください。

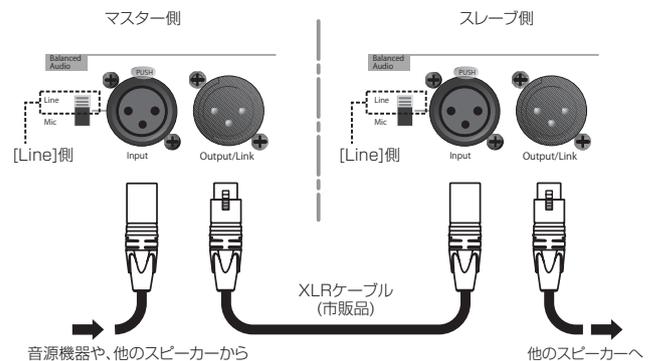
入力機器の接続



- バランスオーディオの入力端子 (Input) のLine/Mic切替スイッチを、接続する機器に合わせて設定します。
 - ミキサーなどのラインレベルを接続する場合: [Line]側に設定
 - マイク等のマイクレベルを接続する場合: [Mic]側に設定
- 接続する機器のオーディオ信号を、バランスオーディオの入力端子 (Input) に接続します。

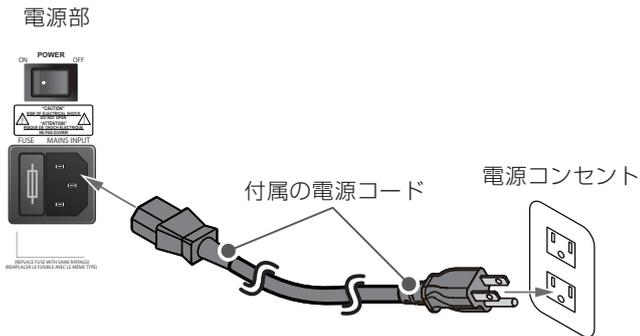
複数のスピーカーをつなぐ(デジチェーン接続)

同一音源を2台以上のスピーカーに接続する場合、マスター側からスレーブ側に送出することができます。



- バランスオーディオの入力端子 (Input) のLine/Mic切替スイッチを[Line]側に設定します。
 - 音源機器からのオーディオ信号をマスター側のバランスオーディオの入力端子 (Input) に接続します。
 - バランスXLRケーブル(市販品)を使って、マスター側のバランスオーディオの出力端子 (Output/Link) とスレーブ側のバランスオーディオの入力端子 (Input) に接続します。
- 上記の接続を繰り返すことで、複数のスピーカーを接続することができます。

電源の接続



付属の電源コードの電源コネクタ側をAC電源端子(MAINS INPUT)に接続し、電源コードの電源プラグ側をコンセントに差し込んでください。

電源コネクタと電源プラグに緩みやガタが無いことを確認して、電源スイッチ(POWER)をオンにしてください。

本機の起動中は、ステータスLEDのLimiter(赤色)が1～2回点滅します。問題なく本機が起動するとLimiterは消灯し、ON/Signal(緑色)が点滅を始めます。ON/Signalは、無入力レベルから小入力レベル時は点滅し、一定の入力レベルに達すると点灯します。

注意

- 濡れた手または、機器や電源コードが濡れた状態で、絶対に電源コードの接続や取り外しをしないでください。感電および機器を破損する恐れがあります。
- 電源コードは、付属の電源コードをご使用ください。
- 電源を入れる前には、音源側の機器の音量を最小にしてください。

入力感度の調整

入力感度調整(Input Sens.)で、入力信号の感度を調整することができます。



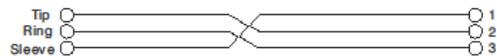
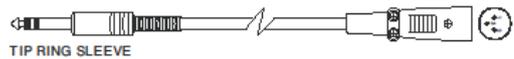
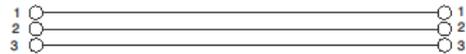
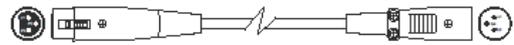
接続完了後、電源を入れたら、入力感度調整(Input Sens.)を0dBに設定してください。その後、各接続機器の設定をしながら、調整してください。

入力感度の調節が完了したら、適切なDSPプリセット値を選択してください。(10 ページ「プリセット設定」を参照)

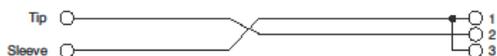
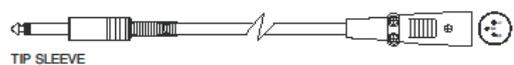
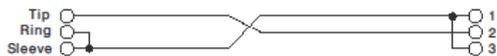
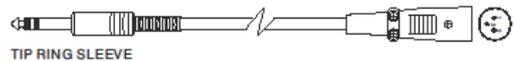
適合ケーブル

FMXシリーズに適合するオーディオケーブルには、以下のタイプがあります。

● バランスケーブル



● アンバランスケーブル



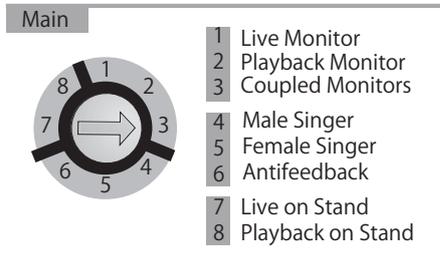
注意

不完全なケーブルの使用、認証されていないケーブルの使用、およびシステム構成や使用する国の規格に適合しないコードまたは、ケーブルの使用による責任を負いません。

プリセット設定

本機は、DSPによって処理される8種類のデジタルイコライザーがあらかじめプログラムされており、目的に応じてプリセット値を選択できます。

プリセットを選択するには、小さなマイナスドライバーを使ってロータリースイッチを希望する番号に合わせてください。



1	Live Monitor	ライブステージモニター用
2	Playback Monitor	床置き設置での音楽ソース再生用
3	Coupled Monitors	複数の床置き設置モニター同時使用
4	Male Singer	男性シンガー ステージモニター用
5	Female Singer	女性シンガー ステージモニター用
6	Antifeedback	オーディオフィードバックを防ぐイコライジング
7	Live on Stand	ライブ等でのスピーカースタンド用
8	Playback on Stand	スピーカースタンドでの音楽ソース再生用

トラブルシューティング

スピーカーの電源が入らない。

- 電源機器をチェックして電源が供給されている事を確認してください。

スピーカーの電源は入るが、音が出ない。

- オーディオ信号の入力接続、またはオーディオ信号のデジチェーン接続が正しく行われているか確認してください。
- ケーブル類に損傷がないか確認してください。
- 接続したミキサーなどの音源に電源が入っている状態で、オーディオ信号が出力されているか確認してください。
- 接続した機器や本機の入出力レベルを確認し、適正な位置に合わせてください。

(本機の入力感度(Input Sens.)の場所は、7 ページの「入出力・コントロール部」を参照してください。)

スピーカーの音が歪んでいる。

- 接続した音源機器のボリュームを調整し、本機の入力感度(Input Sens.)を適正な値に調整してください。
- 使用しているケーブルに損傷がないか確認してください。損傷している場合は、交換してください。(不具合や音質劣化を防ぐために、ダメージを受けたケーブルは新しいものと交換してください。)
- Line/Mic切替スイッチの設定が、それぞれの音源機器に合っているか確認してください。

[Line] 音源(ミキサーなど)を接続する際、または本機に他のスピーカーをデジチェーン接続をする場合等のラインレベル信号を接続する場合は [Line]側に切り換えてください。

[Mic] マイク(ダイナミックタイプ)等マイクレベル信号を接続する場合、[Mic]側に切り換えてください。

仕様

形式

2-Wayアクティブ コアキシャル ステージモニター

スピーカーユニット

HF

FMX 10 : 1インチ (ボイスコイル 1インチ採用)
FMX 12 : 1インチ (ボイスコイル 1.3インチ採用)

LF

FMX 10 : 10インチ (ボイスコイル 2インチ採用)
FMX 12 : 12インチ (ボイスコイル 2インチ採用)

クロスオーバー

FMX 10 : 1,800 Hz
FMX 12 : 1,740 Hz

指向性(カバレッジ)

60° x 90° (回転式ホーン)

アンプ部

形式 : クラスD

RMS出力

FMX 10 : 400 W
FMX 12 : 600 W

ピーク出力

FMX 10 : 800 W
FMX 12 : 1200 W

冷却システム : 自然対流式

プロセッサ部

コントローラー : DSP 28/56 bit 48 kHz
リミッター : ピーク、RMS、サーマル

操作・表示部

LED : リミッター、シグナル
コントロール : 入力感度調整、メインプリセット、LINE/MIC切替スイッチ

周波数特性

-10 dB 時
FMX 10 : 57 Hz~19,000 Hz
FMX 12 : 52 Hz~19,000 Hz

-6 dB 時

FMX 10 : 65 Hz~16,500 Hz
FMX 12 : 56 Hz~15,500 Hz

最大音圧レベル

最大SPL
FMX 10 : 125 dB
FMX 12 : 125 dB

外部入力

Input 端子 : XLR 端子 (メス) × 1 (バランス)
(Line/Mic 切替式)

外部出力

Output Link 端子 : XLR 端子 (オス) × 1 (バランス)

一般

電源

電圧 : AC 100~240 V(自動切替式)、50/60 Hz
電源端子 : AC インレット

注意

日本国内においては、AC100 Vのみ動作保証となります。
(それ以外の電圧で、使用しないでください。)

消費電流(*)

FMX 10 : 1.4 A (100~120 V時: 最大 1/3 出力時)
FMX 12 : 2 A (100~120 V時: 最大 1/3 出力時)

* 通常の使用状況で、フルパワー出力の1/3の場合の消費電力
(音楽再生中にクリッピングが頻繁に発生する状態)
設置時やツアー時は、消費電流の値を参照して、電源容量を計算してください。

動作温度

-5 ~ +50°C

外形寸法

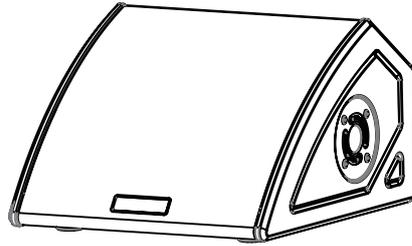
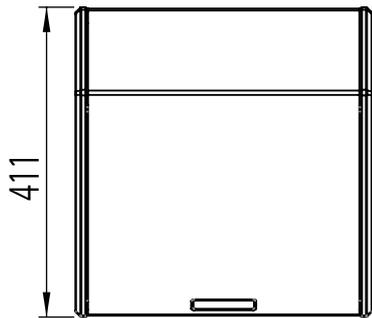
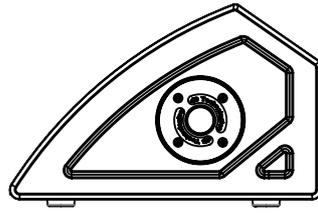
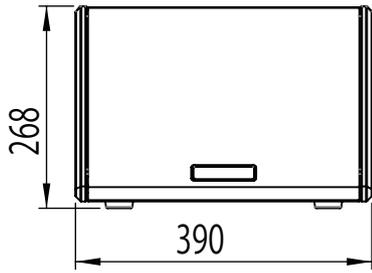
幅 x 高さ x 奥行き (突起部を含まず)
FMX 10 : 390×268×411 mm
FMX 12 : 465×293×444 mm

質量

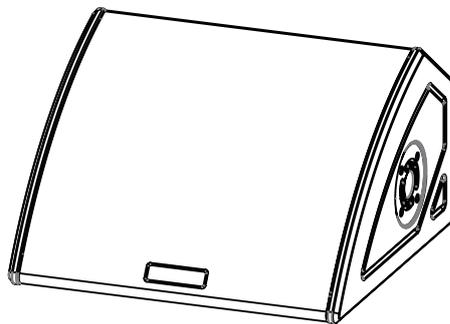
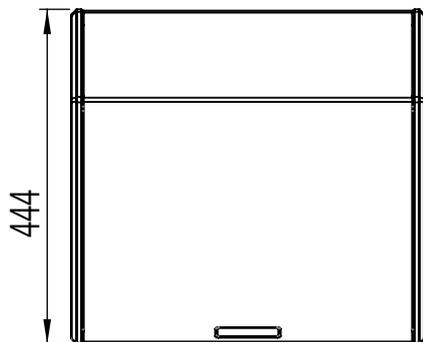
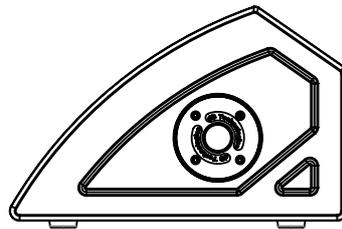
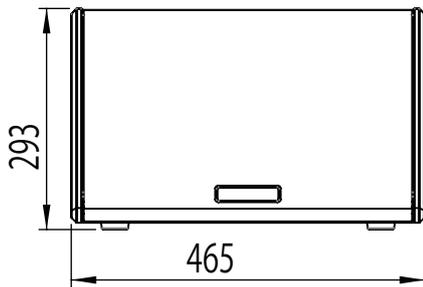
FMX 10 : 11.3 kg
FMX 12 : 13.9 kg

寸法図

FMX 10



FMX 12





無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。無償修理の対象は、お客様が日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
 - (1)ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (2)お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - (3)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (4)接続しているほかの機器に起因する故障および損傷

(5)業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷

(6)メンテナンス

(7)本書の提示がない場合

(8)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。



ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

- 電話 **042-356-9137** 携帯電話・PHS・IP電話から
- ナビダイヤル  **0570-000-809** 一般電話から
- FAX **042-356-9185**

受付時間は、10:00~12:00/13:00~17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

- 電話 **04-2901-1033** 携帯電話・PHS・IP電話から
- ナビダイヤル  **0570-000-501** 一般電話から
- FAX **04-2901-1036**

受付時間は、9:30~17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

0622 MA-3383A

Printed in Japan

保証書

品名	dBTechnologies		
および 形名	FMX 10 / FMX 12		
機番			
保証期間	本体		
お買い上げ日		年	日
お客様	お名前		
	ご住所		

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものではありません。お買い上げの日から上記の期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	
	電話

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

ティアック修理センター

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：04-2901-1033 / 0570-000-501(ナビダイヤル)